

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102  
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

## 【2018～2019主題】

国際会長 ムン・サン・ボン 「Yes, We Can Change!」  
アジア太平洋地域会長 田中 博之 「Action!」  
東日本区理事 宮内 友弥 「為せば、成る」  
あずさ部長 廣瀬 健 「未来はそれに備える人のものである」  
東京武蔵野多摩会長 山口 直樹 「地域に根差した活動を! 理事と共に・YMCAと共に」

## 【クラブ役員】

会長 山口直樹  
副会長 大輪匡史  
書記 麻生由美子  
小林文彦  
会計 鈴木 誠

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club(韓国)  
D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2018年  
7月の聖句

人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい (ルカによる福音書第6章31節)

## ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利を伴う

## 五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

## ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

## 7月例会の卓話

国立市社会福祉協議会事務局長 星野誠氏  
「地域社会の福祉的課題とその解決策  
- 国立を例として -」

\* 今月のハッピーバースデー  
該当者なし

## 6月例会報告

在籍者	13名
出席者	11名
メーキャップ	0名
出席率	85%
ゲスト	1名
ビジター	0名
ネット・コメット	0名
にこにこ	4,790円

## <西東京YMCA 6月のプログラム報告>

- 6/2-3 「あおぞら・つばさの会」1泊会  
(君津亀山少年自然の家) 13名  
6/10 「にこにこ」6月例会(科学技術館)  
「ロビンソン」6月例会(多摩動物公園) 18名  
「さくらサンデー」(多摩動物公園) 3名  
6/30 「さくらサタデー」(鉄道博物館) 4名

## <西東京YMCA 7月の主な予定>

- 7/1 発達支援児野外活動Smile 7月例会  
放課後等デイサービス「さくらサンデー」  
7/8 中高生グループ活動「TeenS」7月例会  
知的障がい児・者余暇活動「ジャバル」・  
いづみの会」バスハイク  
7/14 放課後等デイサービス「さくらサタデー」  
7/27～29 山中ビレッジチームキャンプ

## 2018-19年度会長テーマ

山口 直樹

## 「地域に根差した活動を! 理事と共に・YMCAと共に」

今年度の東京武蔵野多摩クラブの使命は二つあります。

一つは、地域に必要とされることを探り、実践していくこと。または、そのきっかけを探ること。それは、東京YMCA西東京センターと共に歩むものであることが一番望ましい。また、新しい試みとして「健康増進カフェくにたち」もスタートした。変化の中でのスタートであり、あり方はこれから探っていくことになるが、やりながら、走りながら良い形を模索していきたい。また、形はなかなか見えないが、子ども食堂的なものもできる形を探していきたい。それらもすべて、西東京YMCAと共に歩む中で実現していきたい。また、今までも西東京YMCAのサポートを他クラブと一緒にやってきたが、より強めることも希望として持っていたい。

二つ目は言うまでもなく、宮内友弥メンが東日本区理事になることをしっかりと支えていくことである。ワイズ運動が岐路に差し掛かっていることは、昨今多くのワイズが感じていることであり、衰退の可能性をだれもが恐れている状況であると思う。その中で、一昨年から武蔵野多摩クラブで行ってきた、「ワイズ」そのものを大胆に見直す動きがある。我々が先鞭をつけたわけではないが、その動きが様々なところに浸透してきているのではと、強く感じる。宮内年度で、その動きを少しでも実現できれば、多少とも今後のワイズ運動の方向に光が見えるのではないであろうか。

ピンチをチャンスととらえ、今こそ様々な改革につなげられるきっかけを作れるのではないであろうか。ワイズ運動は、一人一人の持っている想いを、クラブという集合体で力とし、地域に密着した形で実践していくことである。区および部はまさに各クラブの実践のサポートをしていくことに使命があると思う。宮内理事を支えることでより良いワイズ運動、ひいてはYMCAの新しい姿が見えてくることを期待しつつ。

## 6月第1例会報告

2018年6月13日19時～21時 東京YMCA西東京センター

出席者：麻生、伊佐、板村、出沼、大輪、小林、鈴木、野尻、宮内、山口、渡辺

ゲスト（ビジター）：菅谷、林

東京YMCA総主事であり、東京ワイズのメンバーでもある菅谷淳氏に米国YMCAと日本YMCAのブランディングについてのお話しをしていただく。

内容は1844年イギリス（ロンドン）にてYMCA誕生からさかのぼり、濃く、深い部分が沢山あり簡潔に書面では表現できません。

☆米国YMCAのブランディングの特徴は

- ①同盟主導型（トレーニングの徹底）
- ②Yexchangeと研修の徹底（YMCAスタッフ全員の人材データすべて把握されている）
- ③キリスト教団体からの脱却。（宗教の自由の優先、ユダヤ教への配慮、NPO・NGOをYMCAに、キリスト教にこだわらない）

☆日本YMCAのブランディングの特徴は

- ①中期計画策定
- ②大規模市場調査の実施（YMCAイメージ調査、何の団体かわからない!! A：社会を支える活動では日赤、ユニセフ等に続き5位、B：教育事業ではベネッセ、学研に続き6位、C：健康事業ではJICA等に続き6位）
- ③V I（ビジュアルアイデンティティ）確定、徹底（ロゴマーク）
- ④スタッフトレーニング

☆日本YMCAブランディングのこれからは、

- ①日本YMCA中期計画の実施
- ②KPI（目標対象）設定（例えば、会員増強、会員満足度、会費、寄付、事業収入、ボランティア等）
- ③事業領域化
- ④重点戦略テーマ

☆そして注意すべき点

- ①YMCAが企業化していく恐れ（利益優先、本社と支社、新しい拠点、新しいYMCA）
- ②会員が離れていく恐れ（トップダウンによる会員活動の衰退、YMCA活動に対する魅力の低下、ワイズメンズクラブが離れていく）
- ③キリスト教が失われていく恐れ（利用者より有能者、Eキリスト教拡大解釈、本来のYMCAの理念・氏名が忘れ去られる）

☆米国と日本のYMCAブランディングの違い

- ①企業にはならない
- ②会員による運動体は変わらない
- ③キリスト教団体である事を守る

☆私自身高校時代YMCA少年部（テンダンと言うグループ）

で人とのコミュニケーションの大切さを十分に学び、仲間との絆を通して、優しさ、思いやり、そして差別のないあたたかな社会を望んで活動してきました。

YMCAは私の原点です。《みつかる、つながる、よくなっていく》ポジティブでもネガティブでも、お互いを認め合い、高め合う、差別のない豊かな社会を作る。

「やりたい何かが見つかり、誰かとつながる！私がよくなる、かけがえのない場所＝YMCA」のさらなる発展を願い、その輪が大きく成長して社会や、世界を変えていく原動力

となり、平和へと導かれ。未来の子供達の幸せな社会を築くことができると信じて疑いません。（麻生 由美子）

## 第21回東日本区大会

【宮内ワイズ（次期理事）が理事を引継】

日時：2018年6月2日（土）10:00～3日（日）12:00

場所：ふじのくに千本松フォーラム「プラサ ヴェルデ」

出席：東京武蔵野多摩クラブ8名（麻生、伊佐、板村、大輪、宮内、宮内メネット、山口、渡辺）、全体480名

付随行事：ゴルフコンペ（大会前）

(1) 年次代議員会（6月2日）

①出席者：議決権者72名中64名（出席51名、委任状13名）

②審議の結果：決議予定の9議案すべて承認可決。

③決議内容抜粋：

・改訂定款（一部を除く）の発効（2018年7月1日より）（第3号議案）

・次期東日本区理事並びに役員および委員等承認（第5号議案、第7号議案）

当クラブ関係者（リスト順）は次の通り。

宮内（理事）、板村（書記）、渡辺（広報・伝達（PR）専任委員）、山口（副書記）

・理事方針承認（第6号議案）

・予算承認（第8号議案）

(2) オープニングセレモニー（6月2日）

メモリアルアワーで当クラブの笠利和彦メン他計14名を追悼。

(3) 東日本区アワー（6月2日）

理事報告およびその他各報告、奈良傳賞授賞式

(4) 記念講演「幸せはいつも自分でつかむ」（6月2日）

岩崎恭子氏（沼津市出身、バレーボール元日本代表）

(5) 晩餐会（6月2日）

部単位の余興にて、あずさ部として「あずさの道」を合唱。また、第22回東日本区大会（2019年6月1～2日、於オリンピックセンター）をアピール。

(6) 表彰（6月3日）

当クラブは12賞を受賞（CS献金達成賞、ASF献金

達成賞、FF献金達成賞、EMC-M（新入会員獲得）

努力賞、ノンドロップ（退会者ゼロ）賞、BF献金達成

賞、TOP献金達成賞、RBM献金達成賞、YES献金達成

賞、全献金達成賞、YIA推進賞、O-スタ-広告協力賞）

(7) 理事・役員引継式（6月3日）

理事引継（栗本氏→宮内氏）と宮内新理事の所信表明。区役員および委員長等引継。

理事ホームクラブバナー引継（熱海クラブ→当クラブ）

(8) その他

①前夜祭（6月2日）当クラブより5名（板村、宮内、宮内メネット、山口、渡辺）参加。

②エクスカッション（6月3日）

海の幸コースに当クラブより1名（板村）参加。

（板村 哲也）

## お知らせ

今年度より、第2例会の開始時刻が19:00となります。ご注意ください。

## 今後の予定

7月

・14日（土）あずさ部評議会

・25日（水）第二例会

・28日（土）原村例会

その他、理事通信をご参照ください。